

## 第518回自然観察指導員講習会の報告

10月29日、30日と小川げんきプラザで、自然観察指導員講習会が開催されました。

参加者は55名となりました。県内からの参加者は26名で、そのうち15人の方が、入会しました。

前回同様に1泊2日の講習会となり、以前の講習会経験者からすれば、やや窮屈な日程でした。

晴天にも恵まれ、気持ちの良い秋空の下、先ずは屋上に上がりお馴染みの森を見るです。



以下に講習会の様子と、受講された方の感想を報告いたします。



笑顔の優しい伏見講師



小野寺講師による枯葉色探し

夜には歓迎会が開催され、参加者相互の交流を深めるとともに、私たちの活動を紹介する場となりました。



腕章をつけてもらい、笑みがこぼれる

2日目のミニ観察会では、いつものことですが参加された方には緊張感が漂っていましたが、それでも、腕章をつけてもらえると、思わず笑みがこぼれます。

受講された方には、1日も早く、活動を開始されることを期待しております。

また、新しく資格を取られた方たちにも参加しやすい観察会、研修会を紹介していきますので、奮ってご参加ください。

なお、3月5日にはNPO法人の総会を「さいたま市立大宮図書館」で開催します。

前研修会・宿泊懇親会・総会・後研修会と盛りだくさんの内容です。情報交換の場にもなりますので、こちらも宿泊を含めての参加を期待しております。



講習会終了後の  
記念撮影

腕章を付けて、晴  
れやかな笑顔の  
皆さんです。

### 「第518回NACS-J自然観察指導員講習会」を受講して

三好 誠

今回の講習会を振り返ってみると、予想以上に実践的な内容で、今後の自然観察会に役立つ得がたい体験をさせていただいたと感謝いたしております。

最大の成果は、自然の見方・考え方・今後のあり方等理解できたことです。

自然観察の視点・自然の保護・観察等を講義で学んだうえで、現場で確認、実践という大変に効果的な手法で習得が高まりました。また、観察会を行う上では、安全第一を考慮する事など、これからの活動で役立つ多くのことを学ぶことが出来ました。

研修に使用された教材や資料も、講習後読み直すことで理解が深まる貴重なもので、今後の活動を行う上で重要な手引き書になります。

講師の先生方、スタッフの方々に改めて御礼申し上げます。

### 自然観察指導員講習会に参加して

安田 信一

私は、「こどもたちに自然の大切さをどのように伝えたらよいか」という課題から参加しました。

講義は、講師陣の熱い語らいで様々な自然観察手法の紹介があり、久しぶりの授業という雰囲気でしたが思いの外時間が短く感じられました。

内容は室内の講義4時間と野外での実習6.5時間、それに加えて早朝オプションで野鳥観察そして初日の夜にはNPO法人自然観察指導員埼玉主催の歓迎会でアルコール類も準備して頂きました。歓迎会では、受講生の自己紹介の後、講師との懇談や参加者どうしの語らいの場となり、楽しい仲間づくりの時間となりました。

2日目の最後に5人ひとチームに分かれて、一人一人が5分間の「実際に自然観察会を企画して実践する」を実習しました。全員時間オーバーでとってしまいましたが、講師から大変良くできましたとの評価をいただき、全員ほっとした表情でした。

2日間の講習を受けて、自然を「見る」が「観る」にかわったことが大きな収穫です。これから、こどもたちに「自然観察から自然保護へ」の大切さを伝えていきたいと思います。